

集 会 ア ピ ー ル (案)

東日本大震災によって、1万5800人も尊い命が奪われました。心からご冥福をお祈りします。また、今も3100人の方々の行方が分かっていません。1日も早くご家族の元に戻ってくることを願っています。

震災から1年。今も、34万人の方が避難生活をしています。日常の生活や働くこと、地域の人たちのふれあいなど多くの問題が残されています。一日も早い地域の人たちが願うまちの再生が求められています。

地震と津波によって壊された福島第一原発では、原子炉の中がどうなっているのか、誰にもわかりません。また、事故はいつになったら終わるのかもわかりません。広い大地と海と大気が汚染され、私たちは、これから長いあいだ、放射能汚染と向き合わなければならなくなりました。特に、子どもは放射能の影響を受けやすいといわれています。わたしたちは、放射能の不安の中で暮らすのはいやです。

今、全国の原発54基のうち運転しているのは2基だけです。この春、泊原発3号機を最後に全国の原発が運転停止となり、原発がなくても電気が足りることがきっと明らかになると思います。福島原発事故の原因も分からないまま、「ストレステスト」だけでいま止まっている原発を動かすのはぜったいやめてほしいです。

東日本大震災と福島原発事故は、これからの社会のあり方や電気をむだ使いしてきた生活をあらためて考えさせられることになりました。

わたしたちは、もっとも苦しむ被災地の人たちの声を聞き、一日も早いまちの再生を実現するとともに、わたしたち子どもが安心して暮らせるように、今こそ、原発のない自然エネルギー中心の社会をめざさなければなりません。

みなさん、

被災地の方々や町の声聞いた新しいまちづくりをすすめてみましょう！

泊原発1, 2号機の運転再開を止めましょう！

子どもたちを放射能から守ってください！

すべての原発をなくしましょう！

わたしたちは心から願います。さようなら原発！

2012年 3月11日

**東日本大震災・福島原発事故から1年、早期復興！なくそう原発！
許すな再稼働！3.11北海道集会**